

## 放射能量測定結果報告

松山清掃工場 排ガス中(煙突)の放射能量測定結果を次のとおり公表いたします。

試料名	試料採取日時	試料測定日時	項目	単位	測定結果	検出下限値		
松山清掃工場 1・2号煙突 (ろ紙部)	2012/3/28 11:33～15:33	2012/3/30 15:00	放射性セシウム	Cs-134	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
				Cs-137	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
				合計	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
松山清掃工場 1・2号煙突 (ドレン部)	2012/3/28 11:33～15:33	2012/3/30 15:19	放射性セシウム	Cs-134	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
				Cs-137	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
				合計	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
松山清掃工場 1・2号煙突 (ろ紙部)	2012/2/23 13:15～17:15	2012/2/27 11:37	放射性セシウム	Cs-134	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
				Cs-137	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
				合計	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
松山清掃工場 1・2号煙突 (ドレン部)	2012/2/23 13:15～17:15	2012/2/25 15:49	放射性セシウム	Cs-134	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
				Cs-137	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
				合計	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
松山清掃工場 1・2号煙突 (ろ紙部)	2012/1/24 12:45～16:45	2012/1/26 19:40	放射性セシウム	Cs-134	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
				Cs-137	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
				合計	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
松山清掃工場 1・2号煙突 (ドレン部)	2012/1/24 12:45～16:45	2012/1/26 19:59	放射性セシウム	Cs-134	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
				Cs-137	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
				合計	Bq/m <sup>3</sup>	不検出		
測定方法及び 測定機器	・放射性能濃度等測定方法ガイドライン(環境省 平成23年12月) ・ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー 文部科学省 平成4年 ・ゲルマニウム半導体検出器(キャンベラ社製 7500SL(P型標準同軸型) 相対効率:25%)							
備考:測定結果は試料採取日の濃度に補正した値です。 「不検出」とは検出下限値未満のことです。 体積の単位は、標準状態(0°C 101.3kPa)を表しています。								

**<基準値等>**

平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法施行規則 (平成23年12月14日 環境省令第33号)	指定廃棄物の指定基準	セシウム134とセシウム137の合計	8000	Bq/kg
	事業場の周辺の大気中の濃度限度	セシウム134	20	Bq/m <sup>3</sup>
		セシウム137	30	
	事業場及び最終処分場の周辺の公共の水域の水中の濃度限度	セシウム134	60	Bq/L
		セシウム137	90	

\*濃度限度は、3ヶ月間の平均濃度について、以下の式により算出した値(セシウム134とセシウム137の場合、各濃度限度に対する割合の和)が1を超えないようにすること。

$$\frac{\text{セシウム134の濃度(Bq/m}^3\text{)または(Bq/L)}}{20(\text{Bq/m}^3\text{)または60(Bq/L})} + \frac{\text{セシウム137の濃度(Bq/m}^3\text{)または(Bq/L)}}{30(\text{Bq/m}^3\text{)または90(Bq/L})} \leqq 1$$